

会計専門職大学院 一般入学試験(学力重視方式及び素養重視方式)出題の意図

(1) 学力重視方式

「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成する目的から、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する知識・能力を有しているか。

(2) 素養重視方式

上記(1)の目的から、国会議事録および審議会議事録等で議論されている問題について理解の上、要約・比較・問題点や共通点の抽出等の能力を有しているか。

(ご参考) アドミッションポリシー

会計専門職大学院では、「世界水準で通用する、理論と実務に習熟した会計人」を養成することを目的としていることから、様々な入試方式を通じて、高度な会計教育を受けることのできる能力・資質・意欲を備えた入学者を広く受け入れます。

1 上記の目的から簿記・会計に関する知識・能力を有する既修者を主たる対象として受け入れるが、簿記・会計の未修者であっても優れた会計センスを有する人材については、積極的に受け入れる。

2 入学試験としては、一般入試(学力重視方式及び素養重視方式)、学内進学入試、指定校推薦入試の他、国際的・社会的に幅広く人材を受け入れるという観点から、留学生別科特別入試及び資格取得者・社会人特別入試等を実施する。

3 入試方式に応じて、簿記や原価計算といった基本的な会計に関する筆記試験を課す入試のみならず、小論文試験や書類選考に面接を合わせた総合的に会計専門職教育を受けることのできる者を総合的に選抜する。